

～ やさしく・かしこく・たくましく ～



# 馬宮っ子

2月号 令和2年1月31日

NO. 12 さいたま市立馬宮東小学校

さいたま市西区大字西遊馬189-1

TEL 048-624-4452

FAX 048-624-2247

◇合言葉：《あいさつと元気がある馬宮東小学校》Webページ<http://mamiyahigashi-e.saitama-city.ed.jp/>

## 心づかい

校長 佐野 公子

暦の上に春は立ちながらも寒い日が続いています。先日は、登校する子どもたちが霜柱を見つけ、嬉しそうに踏みしめていました。学校では、インフルエンザをはじめとする感染症が猛威を奮い、学級閉鎖等を余儀なくされたクラスもあります。

そんなある日、学級閉鎖に関わる心づかいを目にしました。6年生が学級閉鎖になったクラスが担当していた中央階段や昇降口の掃除を代わりにやってくれていたのです。最上級生として、学級閉鎖のクラスに代わりきれいにしようとしてくれたのだと思います。翌日、さらに多くの6年生がきれいにしてくれていました。通り過ぎる教職員が、「ありがとう」と声を掛けると少し恥ずかしそうにしていたのが印象的でした。

来校される方が、最初に目にする昇降口や、そこからまっすぐのびる階段が清められているというのは、学校にとって大切なことです。清掃担当の学年が不在であることに6年生が気付いて、何も言わずに清掃をしてくれていた心づかいに、とても感動しました。そして、チームワークよく清掃をしてくれる6年生の姿から、心づかいはつながっていくことを実感しました。

学校は、子ども、保護者、地域の皆さまから実に多くのお心づかいをいただいています。PTA活動では、その組織力を生かして、物心両面で子どもが生き生きと学び成長していけるよう支援していただいています。皆さまが協力して集めてくださったベルマークでは、小型の跳び箱をいただきました。跳び箱に苦手意識をもっている子どもたちが、贈っていただいた小さな跳び箱で安心して跳ぶことができるようになり、苦手意識を克服することができました。また、ずっと修理しながら使用していた逆上がり補助板が修理不能となっていました。ベルマークのおかげで新しい物を設置することができました。バザーの収益金では、跳ね上げ式の長机を3脚購入することができました。様々な行事の受付では、きれいな白い長机が活躍をする予定です。この他、業間遊馬学校やチャレンジスクール、おやじの会、ゲストティーチャーとしてお越しいただく皆さまから、子どもたちは実に多くのことを学んでいます。そこには、子どもたちを思い、時には指導し、時には見守る温かな心づかいがありました。そして、身近な人のこうした心づかいを感じながら育つことができる子どもたちは、やはりその思いをつないでいくことができるのではないかと思います。相手を思い、何ができるのかを考え、実行する力は、まさにこれからの時代を明るくする灯でもあります。保護者、地域の先輩方から心づかいを学び、それをつないでいくことができる馬宮っ子の育成を続けられるよう、教職員一同努めてまいります。